

安全データシート

作成日 2022年 2月 15日

1. 化学品及び会社情報

製品名	HBsAgGi ELISA Kit
製品コード	RCEK-001
構成試薬	<ul style="list-style-type: none">HBsAgGi coated plate : 96 well (8-well strip x 12)Standard M-HBsAg (1 mL)20X Wash Buffer (50 mL)Dilution Buffer (24 mL)HRP-labeled HBsAgGi (10 mL)TMB Substrate (11 mL)Stop Solution (12 mL)
会社名	株式会社 RCMG
住所	茨城県つくば市千現2丁目1番6 106
担当部署	研究開発部
電話番号	029-828-8010
電子メールアドレス	marketing@rcmg-glyco.com
推奨用途と使用上の制限	製品中の各構成試薬は、研究用試薬「HBsAgGi ELISA Kit」の構成試薬として使用して下さい。

2. 危険有害性の要約

Stop Solution (12 mL)

成分(危険有害物質) : 硫酸 (H₂SO₄)

GHS 分類

物質又は混合物の分類

皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (呼吸器系)

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：

- H315 - 皮膚刺激
- H318 - 重篤な眼の損傷
- H371 - 臓器の障害のおそれ：呼吸器系
- H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ：呼吸器系

注意書き：

【安全対策】

- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

【応急措置】

- ばく露した、もしくは気分がすぐれない場合、毒劇物センターもしくは医師に連絡すること。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。もしコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。加えて、ただちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗浄すること。
- 皮膚に炎症が出た場合、医師の診断、処置を受けること。
- 汚染された衣服を脱ぎ、再利用前に洗濯すること。

【保管】

- 施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

Stop Solution (12 mL)

化学物質・混合物の区別：	混合物
成分（危険有害物質）：	硫酸 (Sulfuric acid)
化学特性（化学式等）：	H ₂ SO ₄
分子量：	98.08
C A S R N：	7664-93-9
濃度又は濃度範囲：	1.9%
官報公示整理番号（化審法）：	(1)－430

4. 応急措置

吸入した場合

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪い時は医師の診察/手当を受けること。
- 呼吸器に関する症状が出た場合には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- 直ちに汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。

眼に入った場合

- 水で数分間、注意深く洗うこと。
- もしコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- その後も洗浄を続けること。
- 直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

- 口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。
- 直ちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。
- 医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

- 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤

現地環境や状況に応じて適切な消火方法を用いる。

使用してはならない消火剤

本物質/混合物に関して、利用可能な情報はなし。

火災時の特有危険有害性

熱分解により刺激性の有毒ガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。大火災の場合、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。これが不可能な場合には、その場所から避難し、燃焼させておく。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な保護具を着用し、煙等を吸い込まないように、風上から作業する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策

アルカリ性物質との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

局所排気・全体換気

十分な換気ができる場所で取扱う。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。

漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。

使用後は容器を密閉する。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいけない。

取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。

個人用保護具を着用すること。

適切な衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

【保管】

適切な保管条件

直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保存する。

混触禁止物質：

「10. 安定性及び反応性」を参照。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

許容濃度

硫酸 7664-93-9

日本産業衛生学会（2013 年度版）：1mg/m³

米国産業衛生専門家会議（ACGIH 2013 年度版）：TWA 0.2mg/m³

保護具

呼吸器の保護具：酸性ガス用防毒マスク

手の保護具：不浸透性保護手袋

眼及び又は顔面の保護具：側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡）

皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

	HBsAgGi coated plate : 96 well (8-well strip x 12)	Standard M-HBsAg (1 mL)	20X Wash Buffer (50 mL)
物理状態	個体（プレート）	液体	液体
色	無色透明	青色	無色透明
臭い	無臭	無臭	無臭
融点・凝固点	データなし	データなし	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし	データなし	データなし
可燃性	データなし	データなし	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし	データなし	データなし
引火点	データなし	データなし	データなし
自然発火点	データなし	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし	データなし
pH	データなし	データなし	データなし
動粘性率	データなし	データなし	データなし
溶解度	データなし	データなし	データなし
n-オクタノール／水分分配係数 (log 値)	データなし	データなし	データなし
蒸気圧	データなし	データなし	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし	データなし	データなし

相対ガス密度	データなし	データなし	データなし
粒子特性	データなし	データなし	データなし

	Dilution Buffer (24 mL)	HRP-labeled HBsAgGi (10 mL)	TMB Substrate (11 mL)	Stop Solution (12 mL)
物理状態	液体	液体	液体	液体
色	青色	オレンジ色	無色～明るい黄色	無色透明
臭い	無臭	無臭	無臭	無臭
融点・凝固点	データなし	データなし	データなし	データなし
沸点又は初留点及び 沸点範囲	データなし	データなし	データなし	データなし
可燃性	データなし	データなし	不燃性	データなし
爆発下限界及び爆発 上限界／可燃限界	データなし	データなし	データなし	データなし
引火点	データなし	データなし	データなし	データなし
自然発火点	データなし	データなし	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし	データなし	データなし
pH	データなし	データなし	酸性	2.0 以下
動粘性率	データなし	データなし	データなし	データなし
溶解度	データなし	データなし	水 100%	水, エタノール: 混和する
n-オクタノール／水 分配係数 (log 値)	データなし	データなし	データなし	データなし
蒸気圧	データなし	データなし	データなし	データなし
密度及び／又は相対 密度	データなし	データなし	データなし	1.010
相対ガス密度	データなし	データなし	データなし	データなし
粒子特性	データなし	データなし	データなし	データなし

10. 安定性及び反応性

Stop Solution (12 mL)

- 安定性：** 推奨保管条件下であれば安定と考えられる。
- 危険有害反応可能性：** 通常の処理ではなし。
- 避けるべき条件：** 高温と直射日光
- 混触危険物質：** アルカリ性物質
- 危険有害な分解生成物：** 硫黄酸化物 (SO_x) (5. 「火災時の措置」参照)

11. 有害性情報

Stop Solution (12 mL) 化学名：硫酸

急性毒性：

類推値 経口：LD50 Rat 2140mg/kg
吸入(ミスト)：LC50 Rat 0.375mg/L

経口 上述の推定値より、区分外とした。

吸入 上述の推定値より、区分外とした。

皮膚腐食性/刺激性：製品のpHが2.0以下のため酸(pH \leq 2)とし、区分1とした。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：製品のpHが2.0以下のため酸(pH \leq 2)とし、区分1とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：混合物の成分濃度が濃度限界以下のため区分外とした。

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：混合物の成分濃度が濃度限界以下のため区分外とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：混合物の区分1(呼吸器系)の成分濃度が1.957%のため区分2(呼吸器系)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：混合物の区分1(呼吸器系)の成分濃度が1.957%のため区分2(呼吸器系)とした。

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

Stop Solution (12 mL)

成分(危険有害物質)：硫酸

生態毒性(水生環境有害性長期/短期)：混合物の成分濃度が濃度限界以下のため区分外とした。

残留性・分解性：データなし

生物蓄積性：データなし

土壌中への移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄については地域、国、現地の適切な法律、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装：廃棄については地域、国、現地の適切な法律、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 IMO 規定に従う。

- UN No. 3264
- Proper Shipping name CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S.
- Class 8
- Packing Group III
- Marine Pollutant Not Applicable
- Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code. Not Applicable

航空規制情報 ICAO/IATA の規程に従う。

- UN No. 3264
- Proper Shipping name CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S.
- Class 8
- Packing Group III

国内規制

陸上規制情報 該当しない。

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

- 国連番号 3264
- 品名 その他の腐食性物質(無機類、液体、酸性のもの)
- 国連分類 8
- 容器等級 III
- 海洋汚染物質 非該当
- MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

航空規制情報 航空法の規程に従う。

- 国連番号 3264
- 品名 その他の腐食性物質(無機類、液体、酸性のもの)
- 国連分類 8
- 容器等級 III

緊急時応急措置指針番号： 154

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。輸送に際しては直射日光を避け、容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下および損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

消防法

- 非該当

毒物及び劇物取締法

- 非該当

労働安全衛生法

- 特定化学物質第3類物質（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第6号）

硫酸

- 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9）

硫酸 政令番号：613

- 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9）

硫酸 政令番号：613 1.9%

水質汚濁防止法

- 指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)

危険物船舶運送及び貯蔵規則

- 腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法

- 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

海洋汚染防止法

- 施行令別表第1有害液体物質Y類物質

大気汚染防止法

- 特定物質

16. その他の情報

主な引用・参考文献

職場のあんぜんサイト <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html>

NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)

https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop

記載内容については、現時点で入手できる資料等に基づいて作成したのですが、すべてを網羅しておりませんので、取扱いの際には十分注意してください。